

EMRをはじめとする各種縮小手術の普及に伴い、深達度診断のみならず、正確な粘膜内浸潤範囲の診断が要求されるようになっていく。前回、胃癌浸潤範囲の診断が「胃と腸」の主題に取り上げられたのは約10年前(25巻3号)である。この間内視鏡はファイバースコープから電子スコープに大きく変わり、その診断能がどのように変化したのかみるのは楽しみであった。

X線診断に関しては、横山論文にはきれいなX線写真が掲載されており、その情熱が伝わってくるが、X線だけで浸潤範囲を診断できる施設が現時点でどのくらいあるのだろうか。

内視鏡診断では、中間・深層型癌の粘膜内進展が問題となる。これは三島らも述べているように通常観察において血管透見像の乱れ・消失として捉えられ、空気量、観察角度により見え方が変わる微妙な変化である。他諸氏の論文を拝見するに、色素散布(コントラスト法)を行い詳細な観察

により浸潤範囲を診断すべきであるとする論調のものが多く、この点大いに不満が残る。色素散布は凹凸で診断するためX線写真と内視鏡写真の1対1の対比には優れていても、血管透見像の微妙な所見を消してしまい、特に胃体部小彎の萎縮粘膜内の中間・深層型癌の浸潤範囲の診断をより困難にしてしまっていると思うのだが、いかがであろうか。一方、佐野らのNBI systemは毛細血管構築の描出を鮮明化し、浸潤範囲診断において今後期待できそうである。

浸潤範囲の診断手順を治療別にみても基本には変わりはない。すなわち、浸潤範囲をよく視て、生検で確認し、EMRならばマーキングを、手術ならばクリッピングを行う。

以上、10年前と比べて診断能が向上したかと問われると、否としか言えない。まだまだ進歩の余地はあるように思えるのだが。

胃と腸

10月号(第36巻・第11号)予告

発売予定

10月25日

定価(本体2,300円+税)

主題/sm massive 以深に浸潤した10mm以下の大腸癌

序説 主題	sm massive 以深に浸潤した10mm以下の大腸癌……………昭和大学横浜市北部病院	工藤進英
	10mm以下のsm深部浸潤癌の病理学的特徴……………大阪府立成人病センター・病理・細胞診断科	石黒信吾・他
	10mm以下の大腸sm massive 癌の病理学的特徴—10mmより大のsm massive 癌との比較から……………新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・病態病理学分野	味岡洋一・他
	sm massive 以深に浸潤した10mm以下の大腸癌の分子病理学的特徴……………獨協医科大学・病理	藤井茂彦・他
	sm massive 以深に浸潤した10mm以下の大腸癌のX線診断……………旭川医科大学・第3内科	藤谷幹浩・他
	sm massive に浸潤した10mm以下大腸癌のX線所見……………九州大学・光学医療診療部	松本主之・他
	最大径10mm以下大腸sm massive 癌の内視鏡診断—臨床病理学的見地から……………昭和大学横浜市北部病院・消化器センター	為我井芳郎・他
	最大径10mm以下の大腸sm massive 以深癌の内視鏡診断……………広島大学・光学医療診療部	永田信二・他
	sm massive 以深に浸潤した10mm以下の大腸癌の超音波内視鏡診断……………福岡大学筑紫病院・消化器科	菊池陽介・他
	10mm以下の大腸sm massive 癌の超音波内視鏡診断……………仙台市医療センター・消化器内科	松永厚生・他
主題症例	sm massive 以深に浸潤した10mm以下の大腸癌の治療……………慶應義塾大学・外科	山本聖一郎・他
	径4mmのS状結腸mp癌の1症例……………癌研究会附属病院・外科	辻和彦・他
	10mm以下の大腸sm深部浸潤癌の2例……………早期胃癌検診協会	山田弘徳・他

胃と腸 (第36巻 第10号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2001年9月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)(配送料116円)

2001年年々ぎめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文栄社 ☎(03)3814-8541

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2001, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp> (担当)阿野・渡辺・永安・小松原